

家具修復の可能性を追求するユニット [Oplá]が、 イタリア フィレンツェと東京をオンラインで繋ぎ、 修復アトリエ見学ツアー & トークセッションイベントを開催。

Oplá(望月貴文[Zouganista]、西原弘貴[Fizz Repair Works]、羽沢昌子[TOOL SHED]、宮下菜歩[soretona])は、2020年12月7日にzoomにてオンラインイベントを開催します。フィレンツェと東京(目黒・東日暮里)から5つの家具リペア工房・ショップをオンラインで繋ぎ、

第一部では、日ごろ一般の方が入ることは少ないアトリエツアーを、
第二部では、職人ならではの視点で“今とこれから”を語るトークセッションを行います。

イベント詳細>>> <https://opla202012.peatix.com/>



世界中の人々にとって忘れられない年となった2020年。

未だ収束が見えない状況が続き、世の中の常識や倫理感の基準が日ごとに変わり続けています。

この変化は、働き方や暮らし方、幸せや心地よさの感じ方にも大きな影響を与えました。

自宅で過ごす時間が増えたこともあり、リペア職人たちの元には、住まいと自分の在り方を見直す人々が、日々家具の修復依頼や購入の相談に訪れます。

様々なお客様と接する中、現在を生きる職人たちは何を感じ、何を想うのでしょうか。

今、目の前にある変化の波も、スタンスが違えば見え方が異なります。

人々の住まいに近い立場にあるリペア職人それぞれ視点で、“今とこれから”をゆるりと語ります。

また、職人たちが長い時間を過ごすアトリエツアー(第一部)で、職人たちのトーク(第二部)をよりリアルに感じていただけるのではないかと思います。

【イベント概要】

- ・日にち / 2020年12月7日(月)
- ・時間 / 19:00~21:00(延長の可能性あり。最長~21:30)
- ・場所 / オンライン(zoomウェビナー)
- ・申込み / Peatixより受付(限定数有り、無料)

<https://opla202012.peatix.com/>



Oplá information

■第一部 アトリエツアー

「オンラインで巡る 家具リペア工房ツアー(フィレンツェー東京)」

“オンラインだからできること”として、フィレンツェと東京をつなぎ、5つの家具・照明の修復アトリエを、リペア職人の案内によって巡ります。ツアーに登場するアトリエは、次のページをご覧ください。



■第二部 トークセッション

「激動の時代にリペア職人が語る 修復を通して感じる“今とこれから”」

現代の職人たちが、職人目線で感じたこと、これからのことなどを“今の感覚”でゆくりと語り合います。これまでのこと、現在のこと、これからのこと。

自粛期間に起きたオーダー傾向の変化や、そこから見える風景、サステイナブルな社会のためにできること・・・などなど

予想もしなかった気持ちの変化などについても、本音が飛び出しそうです。

トークセッションに参加する職人は、次のページをご覧ください。

進行：宮下菜歩[soretone]

Oplá 事務局では、今回のイベント開催にあたり、協賛も募集しています。協賛をくださった企業・団体の名称と URL を、イベントページ (peatix) とイベント終了時に掲示する画面に掲載の予定です。詳細は、問合せください。

【Information】

Email

oplafurniture@gmail.com

・その他、掲載のお問合せなど
宮下菜歩[soretone]
090-6550-2359

・協賛関連のお問合せ
羽沢昌子[TOOL SHED]
090-3904-3507

Oplá information

【リペア職人／修復アトリエ（ショップ）紹介】



■望月貴文／Zouganista

家具メーカー営業職を経て、2007年渡伊。2014年フィレンツェ・サンフレディアーノ地区に自身の木象嵌細工専門工房をオープン。
木象嵌職人としての作品制作のほか、家具修復、店舗の什器制作などを行う。靴木型の複雑な曲面への木象嵌や木象嵌のランプシェード制作など、伝統的な技術を活かした職人の腕に磨きをかけながらも、常に新鮮な挑戦を続けている。

<http://www.zouganista.com>



■西原弘貴／vise・Fizz Repair Works

原産国や年代問わず修復を行う 国内では貴重な家具修復専門店 [Fizz Repair works] が運営するアトリエショップ [vise]。
店内には修復の依頼を受けた家具のみが並び、職人たちに調えられるその時を待っている。
横浜の工房は塗装や木工などの作業、柿の木坂のショップ [vise] は椅子、ソファの張替えと修理の受付がメイン。

<http://www.fizz-r.com>



■杉村聡／POINT No.39

1920年代のN.Y.をイメージした店内に、古き良き時代の精巧な家具や素材にこだわったオリジナル照明が並び [POINT No.39]。
空間サイズや雰囲気に合わせて照明のカスタムオーダーのほか、持ち込み家具・照明の修理にも対応。
店内奥には、ノスタルジックな空間でゆったりとした時間を過ごすことができる席数4つの小さな喫茶店 [SUNAO COFFEE] も。

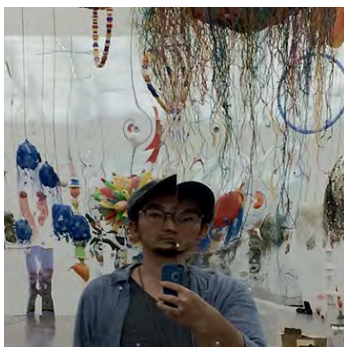
<https://p39-clowns.com/>



■浅井陽平／FILM

目黒通りの中ほどに位置する [FILM] は、数十年もの時代を越え、色褪せず現代まで受け継がれたヴィンテージ家具や照明を扱うインテリアショップ。
家具たちはそれぞれの個性にあわせ、店内に併設した工房で浅井氏の丁寧なメンテナンスを施されて店頭に並び。
年代やジャンルを問わないセレクトからは、FILMならではの独自の視点を感じられる。

<https://www.film-interior.com>



■寺島洋平／BUB LAMP

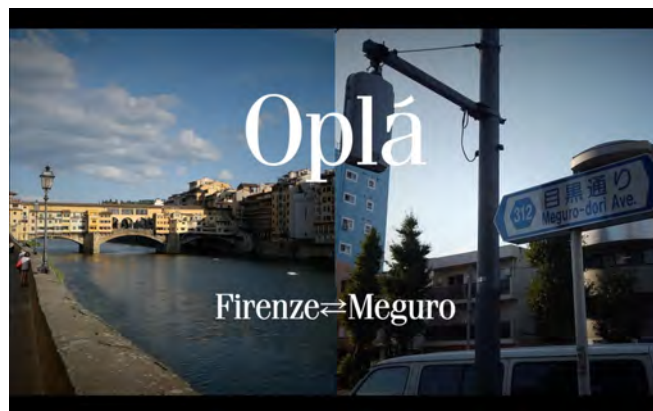
東日暮里にある [BUB LAMP] では、世界各国のビンテージ照明の修理をはじめ、ワンオフからの特注照明製作、輸入品の組み替え作業、オリジナル照明の企画・製作を行う。
デザイン、設計業務から板金までを一貫して自社で行い、デザインに深い理解を持った職人の育成をしている。

<https://bublamp.com/>

Oplá information

【Oplá について】

イタリア フィレンツェの左岸エリア、ふるくからマエストロが集う地に工房をかまえるZouganista(木象嵌細工職人)望月貴文、東京 目黒のヴィンテージ家具屋が軒を連ねるストリートで 家具修復工房 Fizz Repair Worksを営む西原弘貴、一級建築士事務所を主宰し、インテリアプランナー職能団体にも携わるディレクターの羽沢昌子(TOOL SHED)、住まい・ライフスタイルと中心とした広報編集に従事するキュレーター宮下菜歩(soretone)というリペアとその技術が持つ可能性に魅せられた4人が、2018年に結成したユニットです。



《これまでのイベント開催》

・2018年

プロの技術向上を目指し、リペア職人同士が技術を共有する「4日連続プロ向けワークショップ & オーディエンス見学会」を開催。

・2019年

未来の職人となる学生さんや一般の方に向け、「修復技術の魅力を伝えるワークショップとデモンストレーション & トークセッション」を開催。

・2020年

より多くの方々へ向け「オンラインで各工房を公開 & 現在の感覚で職人たちが日々思うこと赤裸々トーク」を開催(本イベント)。

これまでは年に1度のイベント開催でしたが、今回のイベントを起点に、Instagramライブなどを活用し、より多くの方々と継続的な対話を行う予定。

■Oplá の想い

リペアや修復の技術は、ほころびを繕うことはもちろんのこと、新たなプロダクトを生み出すなど、さらなる価値をプラスする可能性を持っています。

また、ヴィンテージやアンティーク、ジャンルや様式を問わず、どこかで誰かに愛されてきた家具を修復し、永く愛着を持って使用することを可能にするリペア技術は、アースコンシャスな循環を遙か昔から支えてきました。

これは、これからの社会全体はもとより、家具・インテリア業界においても必要不可欠なサステイナブルな生活環境づくりの一端を担うと信じています。

リペア・修復の認知を拡大し、現在のリペア・修復環境をより歓びに満ちたものにする事で、次の世代へと受け継がれるヴィンテージやアンティークをとりまくカルチャーの前進に少しでもお役に立てたら…
そんな想いで活動しています。



Instagram



Facebook



YouTube